

自分の小さなブランドをデザインしながら
並行していくつかの企業でも物づくりを続けてきた。

服にまつわるいくつもの問題を目撃した。

ささやかな存在である自分には出来ない事の方がはるかに多い。
だから「答えを充たす物をつくる」よりも「考え方を提案する事」にしよう。

CASE STUDIES は
時にユーモアで問題の解決策のヒントを見つける検証である。



例えばブロード地のシャツに、ウールギャバジンのジャケットを着て、
更にパーバリー素材のコートを羽織る。

まずそこから疑ってみる。

必要最低限の機能と快適性をもつ一種類の素材だけを使い、すべての服をつくる。

さまざまな素材に「なりすます」ユーモラスな検証。